

【日本史探究 面接プリント(後期第1回)】

はじめに

レポートの答えは、ほとんどが教科書・資料集にあります。分からないと簡単にあきらめないで、しっかり読み、探し、調べる習慣を身につけましょう。

後期第1回レポートは、江戸時代中期です。江戸時代を理解をするのに、軸になるのは、15代の将軍名です。①家康②秀忠③家光の時代は、幕府の権勢を安定させるために大名をはじめ各方面に厳しい統制をかけた「武断政治」の時代。④家綱⑤綱吉⑥家宣⑦家継の時代は「文治政治」への転換が行われ、武士の社会で学問を重視する風潮が高まった時代。⑧吉宗⑨家重⑩家治⑪家斉⑫家慶の時代は、幕府の支配体制が傾いて、いわゆる『三大改革』が行われ、飢饉やそれに伴う一揆の増加など、社会の変化への対応が求められた時代。⑬家定⑭家茂⑮慶喜の時代は、ペリー来航以後の幕末の動乱期で、日本が大きく変わっていく時代。このように、将軍で時代を分けながら時代の様子をとらえて行きましょう。

提出切:11月5日。期限内の提出・合格を目指しましょう!

1 「享保の改革と経済の発展」「近世社会の成熟と危機の始まり」

ねらい

江戸時代中期の政治改革に関する設問です。田沼意次による商業資本を保護する政治、松平定信による古い幕藩体制を維持しようとする厳粛な政治、焼け石に水だった天保の改革、日本にせまりくる欧米列強への対応などが大まかな特徴です。長く続く幕藩体制も、やがてひずみを見せるようになり、幕府や各藩も大きく財政が傾き、赤字続きとなります。今の日本と似たような経済状況の中、どのように財政を立て直そうとしたか考えてみましょう。

問1【解答番号①～⑦】⇒教科書166～168頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ144、142頁を参照。

【解答番号⑧～⑩】⇒教科書170～174頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ146、150～154頁を参照。

問2【解答番号⑰】⇒教科書166頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ144頁を参照。

問3【解答番号⑱】⇒教科書173頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ145頁を参照。

2 「幕藩体制の立て直し」「幕藩体制の動揺」

ねらい

商業経済が発達すると、人々の生活は大きく変化をし、大名を始め、武士の生活も困窮していきました。寛政の改革、天保の改革は幕府ができたばかりの

時の家康の政治に立ち返り、社会を引き締めようとしてしました。100年以上前の社会の仕組みを当てはめるのは無理があり、結局改革は上手く行きませんでした。

問1、2【解答番号⑲～⑳】⇒教科書175～178頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ146～148、153、154頁を参照。

【解答番号㉑～㉒】⇒教科書180～185頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ148、147、151頁を参照。

問3【解答番号㉔】⇒教科書184頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ149頁を参照。

商業経済の進展で社会の仕組みが根本から変わり、家康以来の古い体制に頼っている武士階級は大きな変化の波にもまれます。それは幕府だけではなく、各藩も同じでした。藩政改革を積極的に行い、これを取り切った藩と、古い体制にしがみつき、時代に取り残されていった藩とがここに分かれていきます。明治の世を作り上げていく藩はここから生まれていきます。

問4【解答番号㉕】⇒教科書176、177頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ147頁を参照。

「田や沼や 濁れる御世を あらためて 清く澄ませ 白河の水」
(汚職にまみれた田沼時代が終わり、松平定信に庶民が期待した歌)

「白河の 清き魚も 住みかねてもとの 濁りの 田沼恋しき」

(松平定信の改革のあまりの引き締め、庶民が田沼時代を懐かしんだ歌)

ワイロ政治家の代表とされる田沼意次は、商業政策で財政を立て直そうとしたことで評価されています。松平定信の改革は、儉約・緊縮財政をとり庶民の反発を受けましたが、最近では福祉政策と災害政策を再評価されています。風評に惑わされず、自分の考えで歴史上の人物を評価してみましょう。

3

【解答番号㉖】⇒教科書166頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ144頁を参照。

【解答番号㉗】⇒教科書172頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ151頁を参照。

【解答番号㉘】⇒教科書184頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ147頁を参照。

4

「テーマ学習」

⇒教科書180頁を参照。

写真資料館日本史のアーカイブ147、148頁を参照。